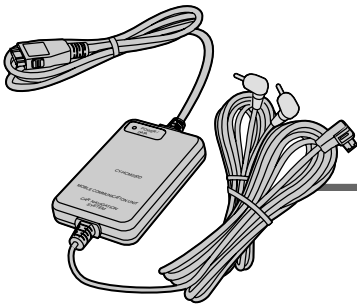


Panasonic

モバイルコミュニケーションユニット

取扱説明書



品番

CY-HCM200D



保証書別添付

このたびは、パナソニック モバイルコミュニケーションユニットをお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

使う前に

iモード

インターネット

電子メール

地点の利用

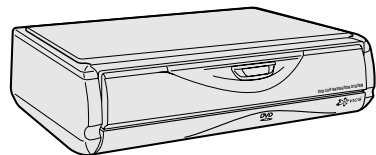
ハンズフリー

HELPNET

必要なとき

モバイルコミュニケーション ユニットとは

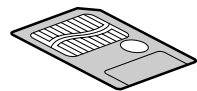
本機をカーナビゲーション・携帯電話と接続すると、車内でインターネットやハンズフリー通話ができます。また、HELPNETに加入すると、HELPNETサービスを利用することができます。



ナビゲーション本体(別売)

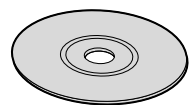
本機と携帯電話を接続します。

対応機種：CN-DV3300
CN-DV3020



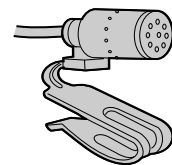
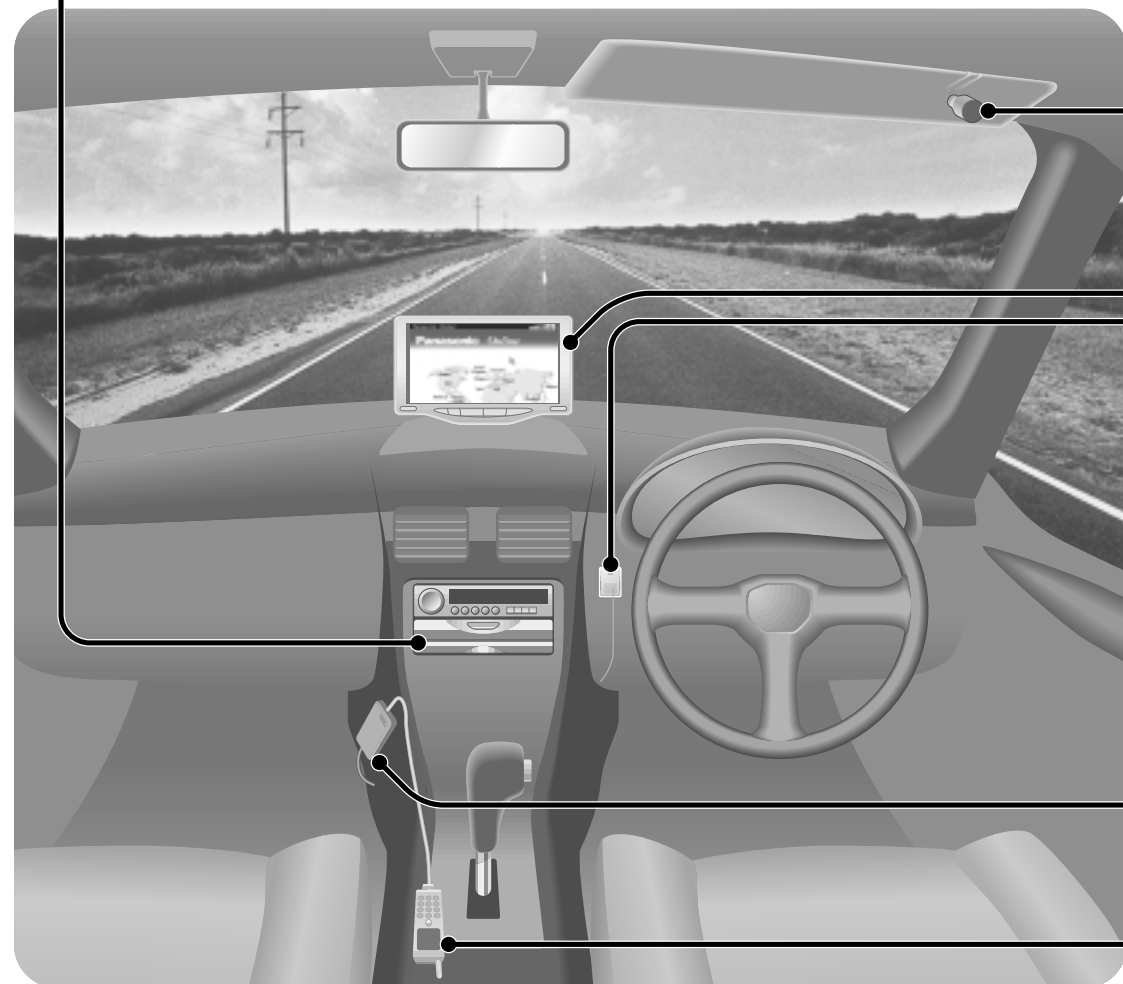
メモリーカード(付属)

電子メール、iモードメールの保存に使用します。必ず、ナビゲーション本体に挿入してお使いください。



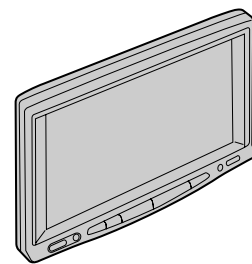
地図ディスク(付属)

本機に対応した地図ディスクです。必ず、付属の地図ディスクをお使いください。



ボイスコントロール用マイク
(ナビゲーションシステムに付属)

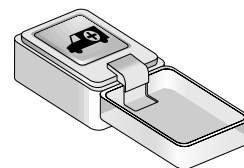
ハンズフリー通話またはHELPNETサービスの通報の際、このマイクに向かって話します。



テレビモニター(スピーカー内蔵)
(ナビゲーションシステムに付属または別売)

インターネットのサイトや受信したメールなどをこの画面で見ることができます。

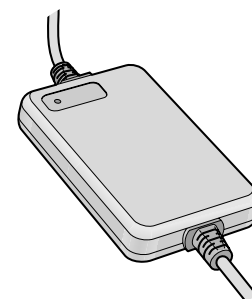
ハンズフリー通話中の相手の声は内蔵のスピーカーから聞こえます。



通報ボタン(付属)

HELPNETオペレーションセンターに通報するときなどに使用します。

HELPNETを利用するには、HELPNETに加入してください。(74ページ)



モデムユニット(本機)

カーナビゲーションと携帯電話を接続して使います。モデムとは、メールなどのデータを電話の音声信号に変換したり、電話で受けた音声信号をデータに変換したりするための装置のことです。

本機の場合、データの送受信の他にハンズフリー通話やHELPNETサービスの利用のためにも使います。



携帯電話(別売)

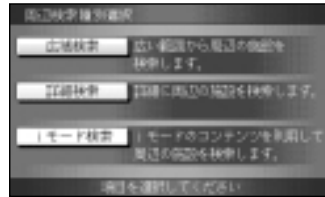
メールなどのデータを送受信する際に、携帯電話の回線を利用します。

iモードやDoPaを利用するには、接続する携帯電話もそれに対応している必要があります。

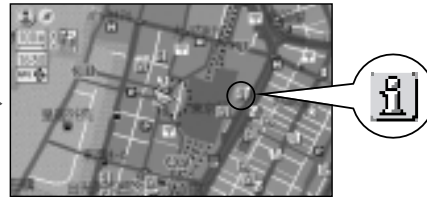
こんなことができます

iモード/インターネット/電子メール

iモード検索

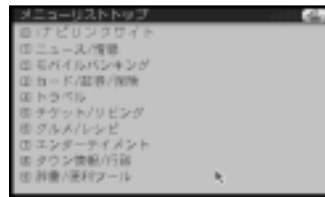


iモードの検索サイトを利用して、周辺の施設を検索できます。



検索結果を地図上にマークで表示します。

iモードサイト



iモードのサイトを見ることができます。

iモードメール自動表示



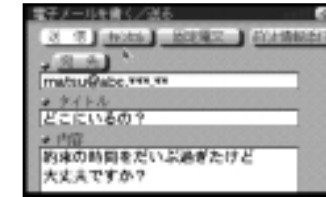
受信したiモードメールを、停車時に自動的に表示します。

ホームページ



ホームページを見ることができます。

メール送受信

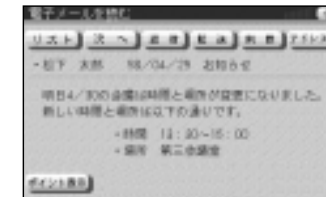


メールを送信できます。
地点情報を添付できます。

ブックマーク



お気に入りのホームページを登録して、簡単にそのページに接続できます。



メールを受信できます。

ハンズフリー通話



ボイスコントロール用マイク（ナビゲーションに付属）を使って、ハンズフリー通話ができます。

ボイスコントロール用マイク

電話がかかってきたら、ボイスコントロールで応答できます。



ナビゲーションで検索した施設に、電話をかけることができます。

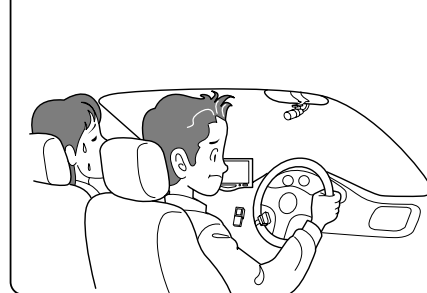


ヘルプネット HELPNETサービス

例えば・・・
同乗者の具合が急に悪くなっても



通報ボタンを押すと



HELPNETオペレーションセンターに回線がつながり、オペレーターが消防本部などへ通報する手助けをします。



自車位置の情報などを考慮して通報されるため、最寄りの消防署から救急車が到着します。



もくじ

はじめに

安全上のご注意	8
付属品・添付品の確認	15
準備する	16
設置・接続する	16
ナビゲーションに本機を認識させる	18
リモコンの働き	20

使う前に

通信を利用するための準備	22
ブラウザを起動する(接続する)	24
ブラウザの使い方	26
iモードセンターへの接続の設定をする	28
iモードメールの自動表示設定をする	28
接続先プロバイダの設定をする	30
インターナビを設定する	32
MONET-iを設定する	32
接続先を選ぶ	34
ブラウザを設定する	34
文字を入力する	36
かなを漢字に変換する	36
きまった文を入力する	36

iモード

iモードを利用する	38
iモードセンターに接続する	38
自動表示されたiモードメールを読む	40
iモードメールを読む	40
メッセージを読む	40
iモード検索をする	42
自動返信の設定をする	44
現在地情報を返信してもらう	44

インターネット

インターネットを利用する	46
インターネットに接続する	46
ホームページ表示中に接続を切断する	46
ホームページの間を移動する	46
URLを指定して表示させる	46
ページを登録する(ブックマーク)	48
ブックマークからページを表示する	48
ブックマークから登録を削除する	48
ブックマークを編集する	48

電子メール

電子メールを利用する	50
電子メールを読む	50
メールを書く/送る	52
固定電文を登録する/削除する	52
メールに地点情報を添付する	54
アドレス帳を編集する	54

地点の利用

地点を登録する	56
iモード検索した地点やメールで 受信した地点を登録する	56
登録した地点を表示する	56

ハンズフリー

ハンズフリーの準備/設定	60
電話の受けかたを設定する	60
音量を調整する	60
電話をかける	62
電話番号を入力して電話をかける	62
リダイヤルする(再ダイヤルする)	64
地図を表示して電話をかける	64
登録ポイントリストを使って 電話をかける	66
パスワードで電話をかける	66
電話を切る	66
電話を受ける	68
電話がかかってきたら	68

HELPNET

HELPNET サービスとは	72
HELPNET に加入する	74
HELPNET を利用するときは	76
HELPNET オペレーションセンターへ 通報する	78
通報する	78
通報できなかったときは	78
保守点検する	80
手動保守点検をする	80
自動保守点検について	82
HELPNET の状態を見る	82
HELPNET が利用できない場合	84
HELPNET の契約変更について	85

必要なとき

故障かな!?	88
専門用語解説	95
仕様	98
本機のお手入れについて	98
著作権について	98
アフターサービスについて	99

はじめに

使う前に

iモード

インターネット

電子メール

地点の利用

ハンズフリー

HELPNET



必要なとき

安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

運転者は走行中に操作をしない、
また画像を注視しない



禁止

走行中の操作や画面の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。安全な場所に停車し、操作してください。

実際の交通規制に従って運転する



ルート案内中でも、必ず道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。交通事故の原因になります。

運転や視界の妨げになる位置に
取り付けない



禁止

前方・後方の視界やエアバック等安全装置の妨げになる位置、シフトレバーやブレーキ付近など運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因になります。

取り付け・アース配線等に、
保安部品を使わない



禁止

ステアリング・ブレーキ系等の保安部品のボルト・ナット・ビスを使用すると事故の原因になります。説明に従い、付属品をご使用ください。

注意

取り付け・配線は、専門技術者に
依頼する



本機の実取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切って他の電源をとるのはやめてください。発煙・発火、感電や故障の原因になります。

配線作業中はバッテリーの⊖端子
を必ずはずす



説明に従って正しく配線しないと、ショートによる感電やけが、および発火や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない、煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると、発火や感電の原因になります。ただちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

DC12V⊖アース車で使用する



本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など(DC24V車)には使用できません。ショートして発火や故障の原因になります。

水をかけたり、ぬらしたりしない



禁止

内部に水が入るとショートや絶縁不良で発熱し、発火・感電・故障の原因になります。洗車や雨のときに水がかからないようにご注意ください。

運転や乗り降りを妨げたり、破損しないようにコードを引き回す

運転や乗り降りが妨げられると、事故やけがの原因になります。コードが痛んだまま使用すると、ショートや断線により、発火や故障の原因になります。



傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。車体やねじ、およびシートレールの可動部にはさみ込まないように整形し、固定する。ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回す。

ハンズフリー関連

警告

運転者は走行中に操作をしない



禁止

走行中に携帯電話を使用したり接続すると、前方不注意による交通事故の原因になります。
安全な場所に停車し、操作してください。

ヘルプネット HELPNET 関連

本機は、あくまでも急病人やケガ人の発生などの緊急事態に簡単な操作で、HELPNET オペレーションセンターに通報し、車内からの通報を補助することが目的です。
この目的を十分にご理解のうえ適切にご使用ください。(2000年9月サービス開始予定)
また、HELPNETサービスの仕様変更などにより、取扱説明書の内容の一部が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機は交通事故時の通報を目的としないため、下表のような仕様となっています。

機能	対応
交通事故時の自動通報	不可
交通事故時の手動通報	事故時の衝撃による破損などに対する動作保証はいたしません。
交通事故時以外の手動通報	可
電源(ACCおよびイグニッション)が切れた状態での通話	不可

ヘルプネット HELPNET 関連

警告

本機は、交通事故発生時の自動通報は行いません。



本機は、交通事故時の通報を目的に作られていないため、自動通報は行いません。

通報は、安全な場所に停車してから行ってください



走行中の操作は、前方不注意による交通事故の原因になります。

通報の妨げになる電話機能は利用しないでください



以下の電話機能を利用すると通報動作の妨げとなり、通報できなくなりますので利用しないでください。

- ・ダイヤルロック ・ダイヤル発信禁止 ・ドライブモード/マナーモード
- ・メモリー着信拒否/メモリー着信許可 ・着信転送 ・留守番電話
- ・発信者電話番号非通知 ・キャッチホン ・セレクフォンなど

ヘルプネット HELPNET 関連

⚠ 注意

サービス開始操作が完了していないとサービスを利用できません



ナビゲーション画面に【HELPNET】が表示されていることを必ず確認してください。(☞74ページ)
会員登録時の手動保守点検が正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

エンジン始動時には、システムが正常に動作していることを確認してください



ナビゲーション画面に【HELPNET】が表示されていることを必ず確認してください。(☞77ページ)
通報ボタンが点灯していることを確認してください。
携帯電話が電源が入った状態で接続されていることを確認してください。

契約期間が終了していないことを確認してください



ナビゲーション画面に【HELPNET】が表示されていることを必ず確認してください。(☞77ページ)
HELPNETサービスの契約期間が終了している場合は、通報ができません。
継続してサービスを受ける場合は、契約を更新してください。

電波状態によっては通報できない場合があります



携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑などにより通報できない場合があります。
携帯電話サービスエリア外では通報できません。
最寄りの公衆電話などから通報してください。

衝撃などで本機、ナビゲーション本体、携帯電話、通報ボタンなど、およびこれらを接続する電気配線に異常または損傷が発生した場合は、通報できない場合があります



本機および付属品は、衝突事故などに対する特別な耐衝撃設計は行っておりません。
本機および付属品に異常または損傷が発生した場合は、通報できない場合があります。
最寄りの公衆電話などから通報してください。

⚠ 注意

ACCがOFFの状態では通報ができません



エンジンがかかっている、またはACCがONの状態にて通報してください。

通報地点(現在地)は、目標物などをとにHELPNETオペレーションセンターのオペレーターと通話で確認してください



通報地点とセンターに通報された位置情報には多少の誤差が生じる場合があります。
目標物などをとにオペレーターと確認してください。

本機またはナビゲーション本体の故障・不具合、および車両等の故障・不具合により通報が正常にできない場合があります



機器の故障・不具合または車両等の故障・不具合の場合は、それぞれのお買い上げの販売店へご相談ください。

通報ボタンの取り扱いにはご注意ください



通報ボタンが故障すると通報できません。水などでぬらしたり、強い衝撃などを加えないでください。

携帯電話の電池切れにはご注意ください



携帯電話の電池の残量が少ない、または切れていると通報できない場合があります。

ヘルプネット
HELPNET 関連

注意

電話料金の滞納にはご注意ください



電話料金を滞納していると通報できない場合があります。

本機に携帯電話が正しく接続されていることを確認してください



走行中の振動などで本機から携帯電話がはずれると通報できません。

お知らせ

すべての通信料金は、お客様のご負担となります。

通報、自動保守点検¹、手動保守点検²などすべてのデータ通信や通話時の電話使用料は、お客様のご負担となります。

- 1 自動保守点検とは、本機が正常に動作していることを確認するために定期的に「保守点検」発信を行うことをいいます。
- 2 手動保守点検とは、機器の付け替え時などに正常に動作することを確認するために任意に「保守点検」発信を行うことをいいます。

お願い

誤通報やいたずらをしないでください。

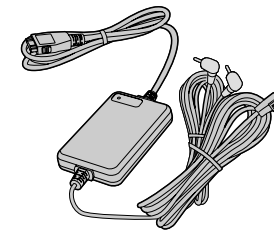
誤通報やいたずらなどが原因で緊急車両などの出動が起きた場合、該当費用に関しての請求や関連法規により処罰されることがあります。

付属品・添付品の確認

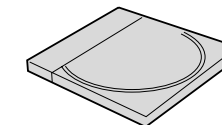
万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

付属品

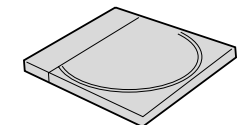
モデムユニット



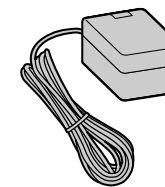
地図ディスク



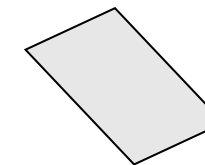
HELPNET
プログラムディスク



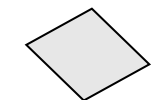
通報ボタン



両面テープ
(モデムユニット固定用)



両面テープ
(通報ボタン固定用)



モバイル専用
メモリーカード



添付品

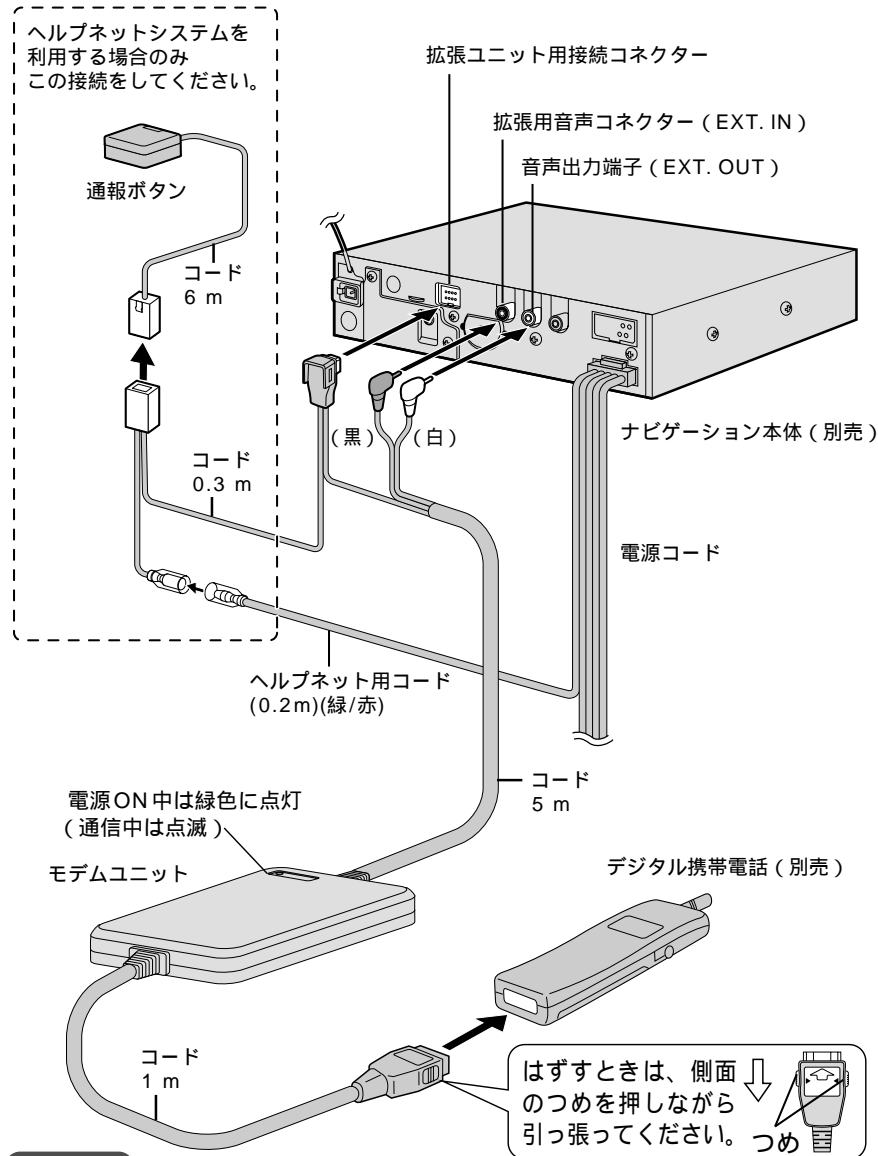
- 取扱説明書
- Hi-HO加入申込書
- MONET-i加入申込書
- HELPNET加入申込書
- 車載機ID番号カード
- 保証書
- ユーザーアンケートハガキ
- 相談窓口一覧表

準備する

配線と取り付けは、ACCやイグニッションスイッチがOFFの状態で行ってください。
ナビゲーションと本機の配線は、専門技術者にご依頼ください。

接続する

ヘルプネットシステムを利用する場合のみこの接続をしてください。



お願い

- カーナビゲーションCN-DV3020D/XDに汎用モニターをビデオ接続してご使用のお客様は
- ・ナビゲーションの音声出力端子と汎用モニターの音声入力端子の接続をはずしてください。
 - ・音声は、別売のスピーカー (CJ-SPT30D) で出力してください。
(接続のしかたは、カーナビゲーションの取り付け説明書をご覧ください。)

設置する

⚠ 注意

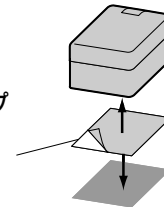
モデムユニットや通報ボタンは、以下の場所には取り付けないでください。

- ・ダッシュボードの上など直射日光のあたる場所や高温になる場所。
- ・運転者の手の届きにくいところ。(通報ボタンのみ)
- ・エアバッグの上。また、エアバッグが展開したときに操作の妨げになるようなところ。
- ・ラジオ、テレビ、アンテナケーブルの近く。

貼り付ける面をよくふいて水気や汚れを取ってから両面テープを貼り付けてください。
一度貼り付けた両面テープをはがして貼り直さないでください。

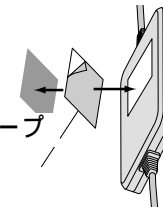
通報ボタン

両面テープ

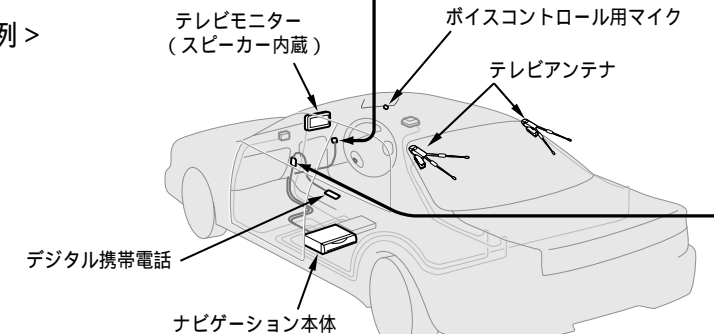


モデムユニット

両面テープ



< 設置例 >



お願い

- 本機をお使いの際は、携帯電話の電源をONにし、ダイヤルロックを解除してください。
携帯電話によって、差し込むときの面の上下が違いますのでご注意ください。
差し込むときは、無理に差し込まないでください。
本機と携帯電話の間には何も接続しないでください。(例：車載アダプター)
本機は携帯電話の充電はできません。
ボイスコントロール用マイクは、テレビモニターやスピーカーから50cm以上離して設置してください。
本機は、カーオーディオやテレビモニターから20cm以上離して設置してください。
本機とナビゲーションを接続するときは、テレビアンテナから離れた位置に配線してください。
画面や音声にノイズが入るときは、携帯電話をカーオーディオやテレビモニターから離してください。
ナビゲーションにテレビモニターをRGB接続してお使いの場合は、以下のいずれかの方法で音声出力してください。
- ・テレビモニターに内蔵のスピーカーから出力する。
[スピーカーを内蔵しているモニター (CY-TV707WD、TR-7LW6 など) の場合]
 - ・テレビモニターに内蔵のアンプから出力する。
[スピーカーを内蔵していないモニター (CQ-VA909WMD、CQ-VA90GD など) の場合]
 - ・別売のスピーカー (CJ-SPT30D) をナビゲーションのスピーカーコードに接続して出力する。
- FMトランスミッター出力やプリアウト出力から、外部のパワーアンプを使用して音声出力しないでください。
ハンズフリー通話時に音が反響し、思わぬ大音量になるなどの恐れがあります。

必ず付属の地図ディスクをご使用ください。
 付属の地図ディスクを使うと・・・
 ・ナビゲーションをバージョンアップします。
 ・モバイル専用メモリーカードにブラウザをインストールします。

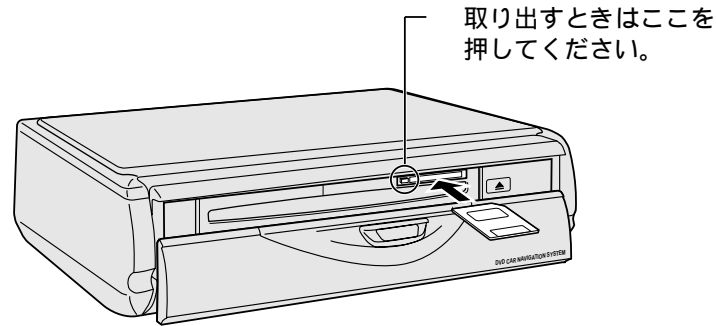
⚠ 注意



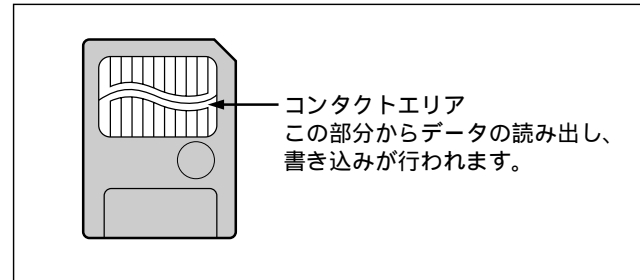
挿入口に手・指や異物を入れない

カードやディスクの挿入口に手・指や異物を入れるとけがや発煙、発火の原因になります。

1 ACCまたはイグニッションスイッチをOFFにして、モバイル専用メモリーカードを入れる。



モバイル専用メモリーカードについて



ブラウザ（インターネットなどを利用するためのプログラム）がインストールされます。

iモードやインターネットを利用するときは、必ずモバイル専用メモリーカードをナビゲーションに入れておいてください。メールなどの保存にも使用します。

モバイル専用メモリーカードの代わりに、市販のスマートメディアを使うことはできません。壊したりなくしたりしないように、ご注意ください。もし壊したりなくしたときは、お客様相談室までお問い合わせください。（☎99ページ）

メモリーカードの取り扱いについて破損の原因になることがありますので次のことをお守りください。

メモリーカードの出し入れは、必ずナビゲーションの電源を切った状態で行う。

プログラム読込中は、メモリーカードを取り出したり、イグニッションスイッチをOFFにしない。

強い力や衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない。

強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすい環境で保管しない。

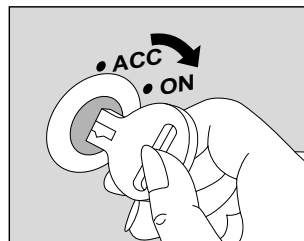
高温多湿の場所、または腐食性のある環境で保管しない。

持ち運びや保管時には、静電気の影響をさけるため、必ず専用の静電気防止ケースに収納する。

メモリーカードの接触面（コンタクトエリア）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れたときは、乾燥した柔らかい布などで拭いてください。

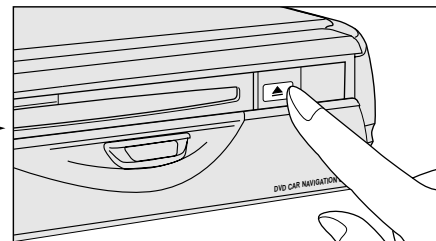
2 ナビゲーションのバージョンアップとブラウザのインストールを行う。

車のエンジンをかける
またはACCに入れる

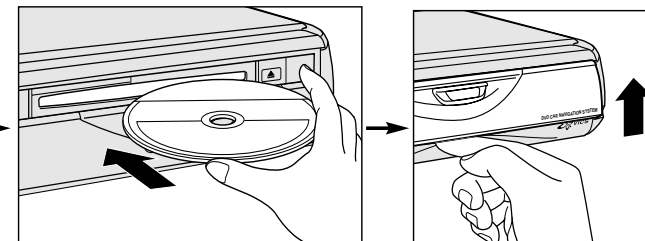


ナビゲーションの電源が入ります。

地図ディスクを取り出す



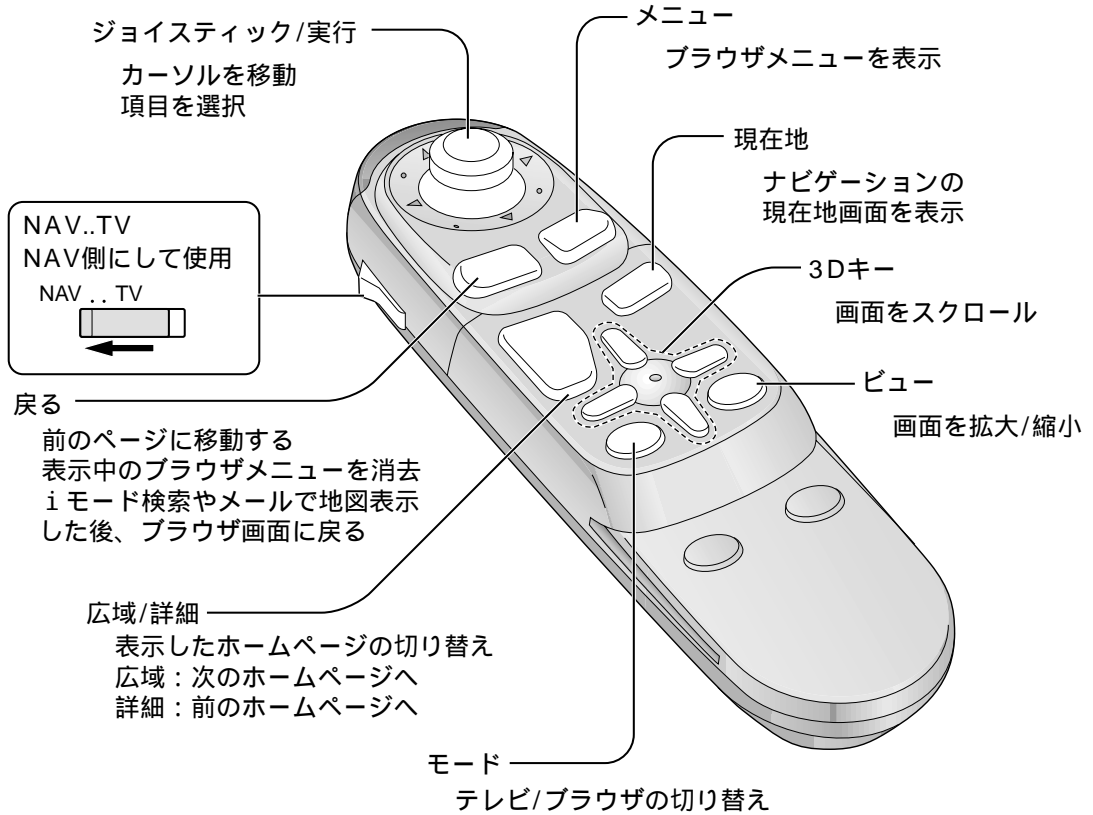
本機に付属の地図ディスクを入れて、ふたを閉める



ナビゲーションがバージョンアップされます。ブラウザがメモリーカードにインストールされます。

リモコンの働き (ナビゲーションシステムに付属)

本体リモコン



ボイスコントロール用リモコン

